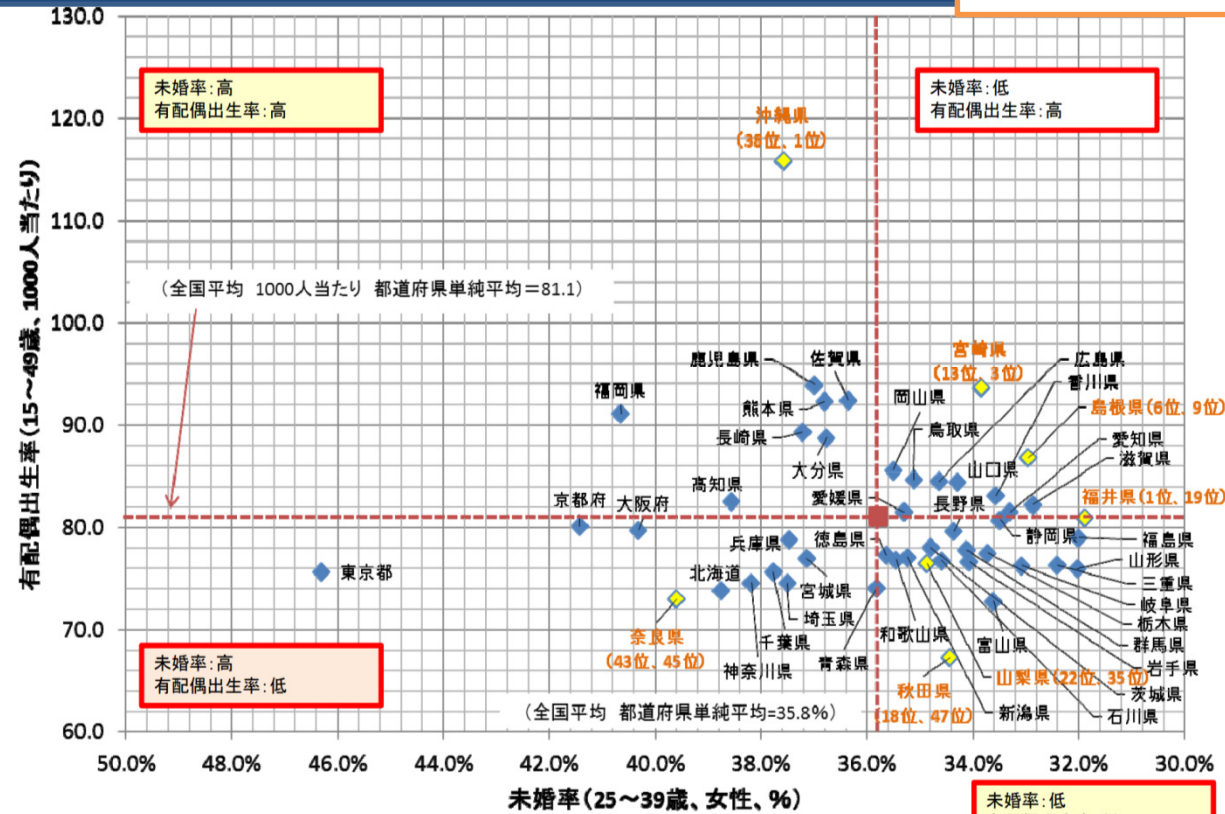


1 合計特殊出生率との相関関係等(都道府県データ)

(1) 都道府県別 未婚率と有配偶出生率の状況(平成22年)

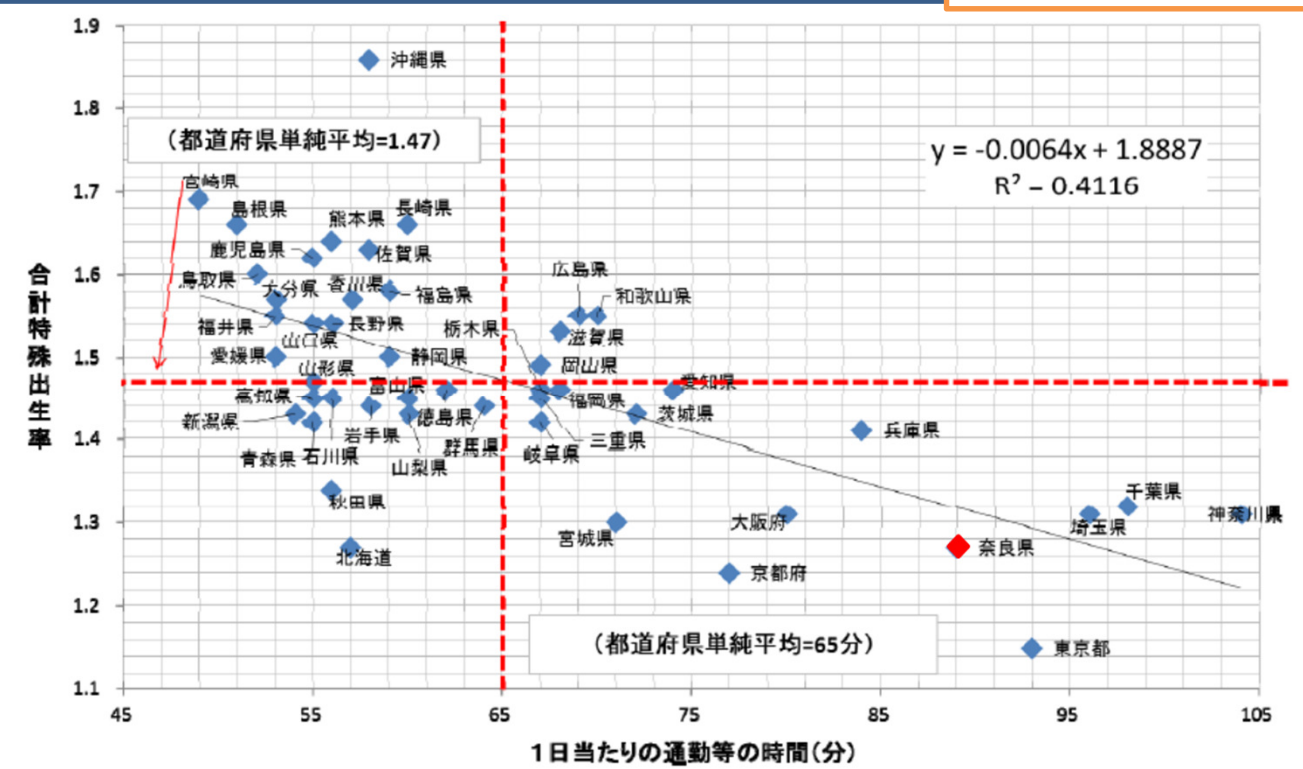
出典:内閣府「まち・ひと・しごと地方創生本部 地域少子化対策検証プロジェクト」資料



資料:総務省統計局「国勢調査(平成22年)」、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計(平成22年)」より。
 ※1.未婚率は、国勢調査による日本人未婚者の日本人人口(配偶関係不詳除く)に対する割合(性別・年齢階級別)と、総務省による国勢不詳及び年齢不詳世帯の日本人の基準人口(性別・年齢階級別)を用いて作成。
 ※2.有配偶出生率は、厚生労働省「人口動態統計(平成22年)」による出生数(母の年齢別)、国勢調査から作成した日本人女性有配偶者数(15~49歳)に対する比率。
 ※3.日本人女性有配偶者数は、国勢調査による日本人有配偶者数の日本人人口(配偶関係不詳除く)に対する割合(性別・年齢階級別)と、日本人の基準人口(性別・年齢階級別)を用いて作成。

(3) 合計特殊出生率と1日当たりの通勤等の時間の状況

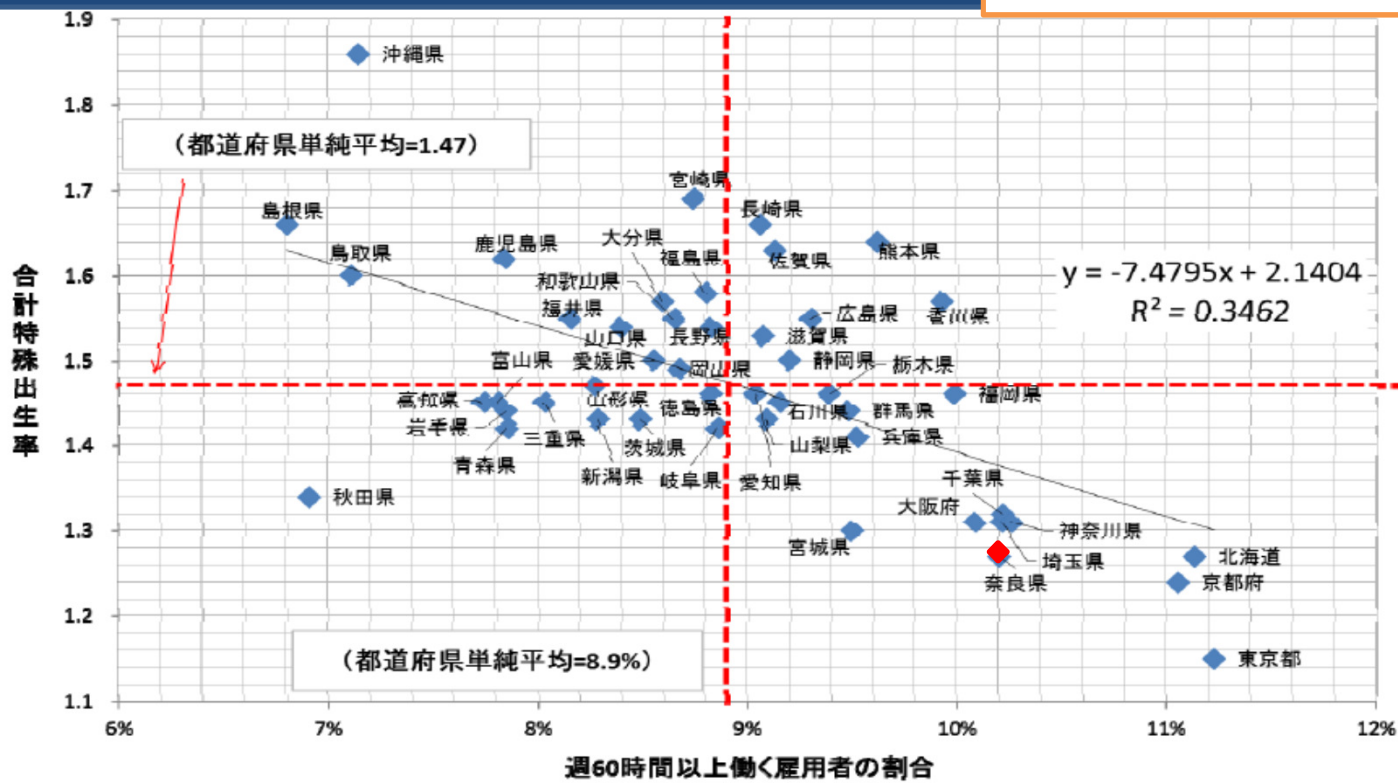
出典:内閣府「まち・ひと・しごと地方創生本部 地域少子化対策検証プロジェクト」資料



資料:合計特殊出生率は、厚生労働省「人口動態統計月報年計(平成26年)」。1日当たりの通勤等の時間は、総務省「社会生活基本調査(平成23年)」。

(2) 合計特殊出生率と週60時間以上働く雇員の割合状況

出典:内閣府「まち・ひと・しごと地方創生本部 地域少子化対策検証プロジェクト」資料



資料:合計特殊出生率は、厚生労働省「人口動態統計月報年計(平成26年)」。週60時間以上働く雇員の割合は、総務省「就業構造基本調査(平成24年)」。

(4) まとめ

①都道府県別 未婚率と有配偶出生率の状況(平成22年)

奈良県の未婚率(25~39歳)は、男性が48.5%で全国19位、女性が39.6%で全国5位(全国平均:男性49.8%、女性37.7%)。
 また、奈良県の有配偶出生率(15~49歳)は、73.0%で全国45位(ワースト3位)(全国平均79.4%)。
奈良県は、「未婚率が高く、有配偶出生率が低い」分類に位置し、東京都や京都府、北海道など合計特殊出生率が低い都道府県と同じ分類(未婚率及び有配偶出生率は、「平成22年国勢調査(総務省)」)。

②合計特殊出生率と週60時間以上働く雇員の割合状況

「週60時間以上働く雇員の割合」が高い都道府県は、合計特殊出生率は低い傾向がある。
 奈良県における「週60時間以上働く雇員の割合」は10.2%で、全国平均に比べ高く、全国6位(全国平均:8.9%)(週60時間以上働く雇員の割合は、「平成24年産業構造基本調査(総務省)」)。

③合計特殊出生率と1日当たりの通勤等の時間の状況

「1日当たりの通勤等の時間」の平均が長い都道府県は、合計特殊出生率は低い傾向がある。
 奈良県における「1日当たりの通勤等の時間」の平均は89分で、全国平均に比べ長く、全国5位(全国平均65分)(通勤等の時間は、平成23年「社会生活基本調査(総務省)」)。